

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	<h1>会 報 第 184 号</h1>	2016年11月25日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
-------------------------------	----------------------	---

1. 活動報告（事務局 記）

ー11月6日（日）会員14名の参加により、遊歩道周辺の草刈り、遊歩道等に残置された除去草の撤去などの作業を行いました。

ー11月23日（水）宇部環境コミュニティ主催による“第8回環境サロン”の開催に合わせ、臨時作業を実施しました。作業は、エコアップを主体として、

- ① ウチワゼニクサ（タテバチドメグサ）の除去
- ② カヤツリグサ、ガマの除去
- ③ 法面の草刈り（草刈り機使用）
- ④ 仮積みした除去草の撤去

作業に参加された環境サロン出席者は23名、当会からの出席者は8名でした。老若男女、合わせて31名で賑やかな作業となりました。

ー11月23日（水）第8回環境サロンの午後の部は、二俣瀬ふれあいセンターにて実施されました。最初につくる会関根事務局長の講演「里山ビオトープ二俣瀬の建設と現状」があり、グループディスカッション「ビオトープの活用法」では4班にグループ分けされ、

- ① 保全活動を通じて学んだこと！
- ② ビオトープで維持するために自身で出来る事は？

の二つのテーマで話し合いされ、参加者の高校生が結果をそれぞれ報告して終了しました。環境サロンの参加者は25名でつくる会は6名が参加しました。

宇部工業高校と宇部西高校の若い人が参加され、今後の活躍に期待したいと思います。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎来訪者

予定はありません

◎行 事

ー11月26日（土）親子自然観察隊（里山の暮らし）

ー12月10日（土）収穫祭準備（洗米・会場作り）

ー12月11日（日）収穫祭（餅つき）親子自然観察隊・二俣瀬子ども会・他招聘

ー12月11日（日）親子自然観察隊解隊式

ー12月24日（土）維持管理・年末懇親会

3. 来訪者の声

今月はありません。

4. 会員の声-「文化祭による餅蒔き」 (原田満洲夫記)

秋、ピオトープのある二俣瀬では例年の「ふるさと祭り」= (文化祭) が挙行された。最終行事の3俵の餅蒔きを行った。今年も高齢化・少子化の例外でない二俣瀬もなぜか毎年参加者が増えて今年は延べ700人ぐらいであろうと推測された。毎年すこしずつ増えている。

これは故郷を愛するがためか? 文化を吸収する心からか? そうであったら非常に喜ばしいのである。いいやそうではなく最後にある餅蒔きが主な目的で参加し最後まで居座る?

主催側としてはどんな目的でもよい地域活性化に寄与出来ればとの思いである。それには地域の事を心から愛してか? よっぽど暇か? 3日前より3俵の米を洗い、4台の餅つき機の分解整備、3台のバーナのテスト運転さらには4台の餅もみ台の組立。2日前にはあさ7時半からバーナの火入れで湯沸し開始、せいろでのコメ蒸し開始、8時半揉み手の敬老会と中国人実習生の餅揉み開始に間に合うよう準備等々、平日であって十人足らずの奮闘でこれをクリアする事など餅を拾う人は全く知らないと思う。ふるさと祭りの本当の陰の力となっている。私はその中の一人であると自負する。

“餅ひろい 作る苦労も 知ってね”

5. 親子自然観察隊 「 」 (管哲郎 記)

11月の観察隊は、26日に「里山の暮らし」を実施しますが、これに関する報告は次回の会報にて行います。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(11) ツマグロカマキリモドキ *Climaciella quadrituberculata* (準絶滅危惧種)

アミメカゲロウ目 カマキリモドキ科

本州～沖縄までに生息しており、透明な翅をもつ小型のカマキリのようなようです。カマキリではなく“カゲロウ”の仲間、体長30～40mm、透明な翅の先に薄い茶色の紋が広がっています。これより大型の“オオカマキリモドキ”は茶色の紋がなく体長も45～50mmと大きくなります。県内では夏に秋吉台でよくみられます、鎌状の前脚で小昆虫を捕え食べるようです。オスは小さく、メスの半分ほどの大きさです。木の葉や草の葉、茎などに止まっていますので、探してみてください。秋吉台を散策する楽しみが増えると思われます。



ツマグロカマキリモドキ♂



ツマグロカマキリモドキ♀



ツマグロカマキリモドキ♂



ツマグロカマキリモドキ♀

7. 会よりの連絡事項

1. 12月10日の午後13時より餅つき準備要領と参加者募集
イ、洗米 2俵半の精米を 永山酒造場を借用して洗米します 3名
ロ、会場づくり
テント張り：3幕 二俣瀬ふれあいセンター備品借用 6名
バーナ：2台 二俣瀬コミュニティより借用、1台不足借用募集します
餅もみ器：3台 二俣瀬コミュニティより借用、バーナと揉み器準備 3名
一時置場：長机14台(2×7) 置き紙貼り付け等会議室を借用し準備 3名
※ 最低9名の参加を要望致します。

2. 12月24日の年末懇親会は、東屋にて行います。9時から維持活動を少しして、10時過ぎに懇親会に入ります。予算は2千円/人程度とし、酒と焼肉をメインとします。予算の都合上、出席者の確認を12月初めに行い、確認は12月20日までとし、人数にあった買い物をします。出席者の当日での欠席はお金を徴収します。この時に来年度の行事計画も話し合います。

8. 編集後記

自宅の庭に何種類かの鳥がよく来ているのですが、何の鳥かさっぱり分からないので、ちょっとは鳥の事を知りたいと、ここ最近通勤時の車運転中、ラジオの合間に「CD声でわかる山野の鳥」というものを聞いています。しかしこのCD、実はかなり昔(10年近く前?)に購入し、しばらく聞いていましたが、さっぱり頭に入らず挫折した代物です。「水辺の鳥」バージョンも当時購入したのですが、こちらはビニールのパッケージすら開けずに終わってしまいました(笑)。私もあれからまた歳をとったのだから、あの頃と気持ちも変わり、少しは鳥の声が頭に入るかも…と思いつつ聞いています。昨年度も今年度も親子自然観察隊の野鳥観察の時に、同じ民家の屋根の上で見ることができたホオジロの声をまた聴いて「この声よこの声!!」と思ってみたい…。望遠鏡で見せて頂いた姿、とてもかわいかったですよね。さて、果たして続くのでしょうか?野鳥が訪れやすい庭造りの本もちょっと購入してみたので、庭造りと絡めたら続くかしれません(?)

(大野 靖子 記)